

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。  
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

## 秋吉台 ススキの名所へと衣替え

ずい分と秋らしくなったと思っていたところ、11月中旬頃から数日間雨天が続いたら、その後急に冷え込んできました。これくらいが例年の寒さかも知れません。秋吉台の草原もゆっくりと秋を感じる間もなく冬を迎えるようなことになり、戸惑っているのではないのでしょうか。見頃となっていたムラサキセンブリなどもそろそろ咲き終わりとなり、代わって石灰岩にからんだサルトリイバラが葉を落として、赤い果実が珊瑚のように見えます。秋吉台の花の季節も一区切りです。これからしばらくの間、ススキのいわゆる枯れ尾花が夕日に映える頃となります。



### 季節の花 短かった秋、花の季節もそろそろ一区切り

**ウメバチソウ** 日当たりがよく、やや湿気のあるところに生えるニシキギ科の多年草。家紋の梅鉢紋に似ていることから名前です。背丈の高い草地の中でも白く可愛い花が見え隠れしています。

**リンドウ** 日当たりのよい草原に自生するリンドウ科の多年草。漢字で竜胆と表し、その根が竜の胆のように苦いということから名付けられました。青紫色の花が茎の頂部に付き、草原ではきれいな花が目にとまります。

**キッコウハグマ** 林縁や木陰の少し湿り気のあるところに生えるキク科の多年草。小さな白い花なのでよく探さないと見つかりにくいです。草丈は5cmから30cmほどと多様です。今年は閉鎖花がかなりあるようです。



## 「美東ゴボウの収穫体験」 長いゴボウにご満悦

11月9日、体験学習「美東ゴボウの収穫体験」を行いました。秋吉台特有の粘土質の土壌で育った「美東ゴボウ」はたいへん美味です。参加者たちは、重機で掘った深い溝の中に入ってゴボウを抜き採ります。小さな子供さんは、自分の背丈ほどもある長いゴボウを掘り上げてご満悦のようすです。収穫を終えると栽培農家の堀田さんからお話を聞き、「美東ゴボウ」の歴史や美味しい調理法などを学びました。



## 観察会「冬眠中のコウモリを見る」(11月30日)

観察会「冬眠中のコウモリをみる」を行いました。レクチャールームで概要説明の後、三角田洞に移動しました。ここ数日間の雨で洞内の増水が懸念されましたが、そうではありませんでした。コウモリたちは洞内の奥の方でたくさん冬眠していました。中には参加した子供の目の高さ辺りにもいて、じっくりと観察できました。石灰岩のくぼみで眠っているモモジロコウモリはかわいいです。キクガシラコウモリは翼で顔をかくすようにしてみんなで見え隠れしています。今回は2種類のコウモリを観察しました。



## 帰水一時湖

## 季節はずれの一時湖出現

11月2日前夜から翌朝にかけての大雨により、帰水に一時湖が出現しました。カルストロードから見て確認できたのは、今年ではこれで3回目です。写真撮影していると雨が止んだので、秋吉台青少年自然の家方面へ移動して帰水まで行って見ました。カルストロードから見下ろすのとは違って、近くで見るとかなり大きな湖です。斜面からは滝のように水が流れ出してもものすごい水音を立てていました。



## 12月の行事

12月15日(日) 体験学習会「クリスマスリース作り」  
いろいろな材料を使ってクリスマスの飾りを作りましょう。